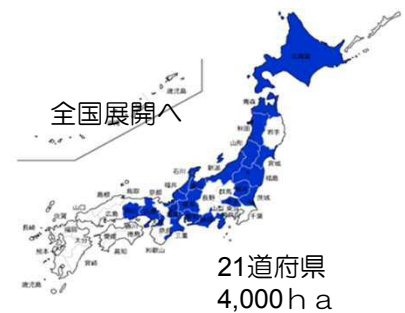
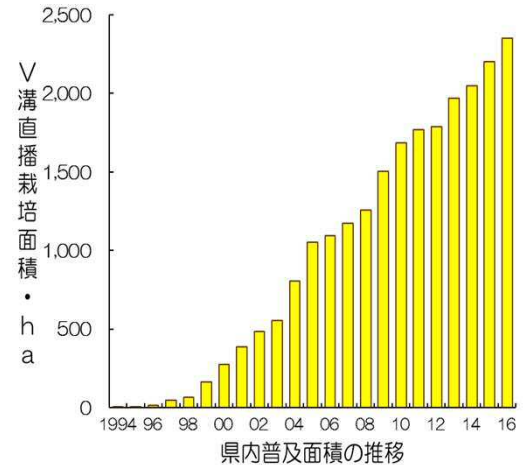
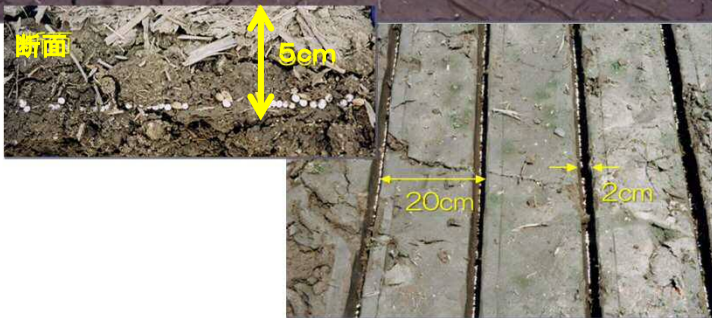




楽々米づくり「水稲不耕起V溝直播」



(安城農業技術センター開発)

背景

米作りの省力化と経費削減のため、水田に直接種子を播く直播栽培が導入されてきましたが、出芽・苗立ちの不安定性や倒伏しやすいなどの問題があり普及定着していませんでした。

そこで、栽培安定性の高い直播栽培技術の開発に取り組みました。

成果の内容

不耕起V溝直播は、秋冬季に代かき又は浅耕鎮圧によりほ場を固め、春にV字型の溝に種子と肥料を同時に播き、出芽した後に入水するだけで、その後の中干しが不要な超省力稲作技術です。

従来の機械移植栽培に比べ、労働時間が3割、必要経費が1割削減できます。

愛知県農業への貢献

春の農繁期の忙しさが緩和でき、従来の直播栽培に比べ鳥害にあいにくく、耐倒伏性が高まり、収量も安定しました。導入農家数、栽培面積は年々増加し、現在では、全国21道府県、約4,000haに普及拡大しています。

(作物研究部)